

## 6. 維持管理方法の検討と設定

再整備基本計画内容を踏まえて、維持管理方法について管理計画と運営計画の検討を行った。

### (1) 維持運営管理項目と検討課題

管理計画は各ゾーン共通で、樹林地管理と植栽地・芝生管理、花壇管理の植栽管理と、工作物管理、安全管理、清掃が項目として挙げられる。

各項目の作業内容と、現時点における課題を抽出して一覧表にまとめた。

また運営計画は、建築物や駐車場等の施設運営と、各ゾーンの施設運営に大別される。現在は直営による運営が主であるが、再整備後は、通常の維持管理とともに施設運営や積極的なイベント運営などの展開を行っていくため、指定管理者等の導入を視野に入れながら検討していく必要があることから、現時点における課題を抽出して一覧表にまとめた。

今後の維持運営は、人口減少による収税減という財政上の課題もあるため、民間のアイデアや活力を活用しながら進めていく必要がある。

なお本計画を作成するにあたっては懇談会を5回開催し、地域の代表者と意見交換を行ってきたが、各課題についても、引き続き地域との意見交換を踏まえながら進めることが望ましいため、課題ごとに検討主体を明記した。検討時期については、基本設計時に概略検討を行い、整備時に詳細検討を行う。

### (2) 維持運営管理体制の方向性について

維持管理・運営管理は、公園全体を一つの指定管理者等で行う場合と、施設運営は直営で行いそれ以外の運営管理を指定管理者等で行う場合の、2つのパターンが考えられる。

公園全体を指定管理者等で行う場合、美術館等の特殊な施設などを含めた公園全体を、統一された維持管理・運営方針を作成し実践していくことで、公園全体のサービスの質が高く、効果的、効率的な管理運営が期待できる。一方デメリットとして、指定管理者選定の事務作業や経費、事業計画が実施されない場合のリスク等もあり、地域活動団体や地元意向の反映に対して、指定管理者と協働関係を構築できる体制を考慮していく必要もある。

施設運営のみ市で行う場合は、新たに整備する施設の運営体制を構築していく必要があるほか、全体の管理経費が増大することが懸念される。

本再整備計画の実施後から、指定管理者等を導入する場合は、今後進められる基本・実施設計段階において、2つの美術館や各施設の運営に関する基本的考え方を関係機関と調整しながら、確定していく必要がある。

上記を踏まえ、設計・整備段階において、新たに整備予定の施設（カフェ&クラフト体験施設）やイベントについては、社会実験を行いながら公園全体のマネジメント方法について検証することを予定する。

■運営管理項目と検討課題（案）

項目	ゾーン名	名称	内容	課題等	検討主体
管理	共通	樹林地管理	樹林維持育成管理 (間伐、下草刈り等)	・生物多様性や、安全・快適性を考慮した定期的な樹林地管理 ・明るいイメージ継承のための樹林地育成管理マニュアル等の作成	市
		植栽地、芝生管理	剪定 徒長枝刈込 草刈り 等	・現在の管理内容の継続	市
		花壇管理	植替 水やり 草刈り 等	・どのような仕組みで管理を行うか (指定管理者主導によるボランティアなど)	市・および市民との連携
		各種工作物管理 (定期点検)	保守点検 遊具等安全点検	・施設更新に合わせた管理（遊具、親水施設）	市
		安全管理	パトロール	・管理・運営の中で検討	市・および市民との連携
		清掃	一般清掃 トイレ等施設清掃	・現在の管理内容の継続 (一部の清掃をボランティア等との協働することも検討できる)	市・および市民との連携
運営	共通	駐車場	施設運営	・公園施設の更新やイベントなど利用増進に合わせた駐車場のレイアウトと適切な運用	市
		バーベキュー広場	施設運営	・ソフト事業として展開するため場所の選定	市・および市民との連携
		ドッグラン	施設運営	・運営方針や内容の検討	市・および市民との連携
		イベント	さくらまつり、時代祭り アートイベント	・占用する場合の、許可等の運営ルール ・各種イベントの状況把握 ・イベントの提案力	市（2016に社会実験を予定）
	美術館ゾーン	(仮称) 国際工芸美術館	イベント	・公園との連携の検討など	市
		国際版画美術館	イベント	・公園との連携の検討など	市
	アートイベントゾーン	カフェ&クラフト体験施設	施設運営 イベント・企画運営 カフェ経営	・クラフト体験施設の運営方針や内容の検討 ・カフェ施設とクラフト体験施設は、併設するか独立するか。	市（2016に社会実験を予定）
		冒険遊び場	施設運営	・自主運営の継続検討	市、市民
		ガイダンス施設	イベント	・公園との連携の検討など	市
		ひだまり荘	施設運営	・指定管理者等の運営か運営協議会の運営か	市・および市民との連携
	芝生ゾーン	多目的広場	施設運営	・ステージのニーズ等の把握 ・虹と水の広場の安全な運用方法	市・および市民との連携
		グラウンド	施設運営	・既存団体との調整 ・使用用途（キャッチボール、サッカーのボール蹴り、ゲートボール）	市・および市民との連携
	わき水と花の 明るいゾーン	コナラの森 クスギの広場	施設運営	・樹林地管理と同様	市・および市民との連携
		(仮) ホタル散策路	運用方法	・ホタルの増殖は、自然繁殖か養殖か。養殖の場合、自然環境に悪影響を与えない手法の検討	市・および市民との連携
		アート展示スペース	運用方法	・学校等と連携して期間限定で作品展示（例えば1年毎、半年毎に作品を更新）	市・および市民との連携
	エントランス 公園敷地外	アートストリート	運用方法	・中心市街地整備基本計画と整合を図る	市
バス		運用方法	・運行ルート、費用の面などさまざまな視点から検討する必要がある	市・および関連事業者	